

For Earth, For Life
Kubota

NEW クボタミニバックホー

RX-205



国土交通省新技術登録システム

NETIS 登録

オートアイドル機能付ミニバックホウ

登録番号 KK-120076-A

NETIS 登録番号

信頼の先進機能に、安全性を高めてさらに進化。 クボタミニバックホー RX-205、新登場!

あらゆる建設シーンで真価を発揮するクボタミニバックホー RX-205。

その快適な操作性、優れた作業効率をはじめコンパクトなボディに凝縮された卓越の高性能が、

さらなる安全性を求めてモデルチェンジ。

新設計の TOPS 対応キャノピ、シートベルトを標準装備し、さらなる安全性を追求。

デザイン一新のクボタミニバックホーが

現場の多様な期待にお応えします。

TOPS

TOPS (Tip Over Protective Structures) とは、「横転時乗員保護構造」のことで、機体が前後または側方へ転倒したとき、シートベルトを着用したオペレータを危険から保護する構造です。



NEW クボタミニバックホー
RX-205

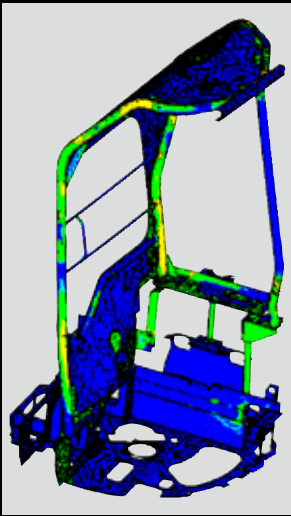
SAFETY

常に作業に集中できる高水準の安全性を追求。

TOPS 対応キャノピ&

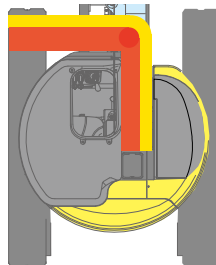
シートベルトを標準装備

ゆったりと快適な作業スペースは、巻取式シートベルトを標準装備するとともに、TOPS 対応キャノピーの採用により安全性をさらに追求。万一の横転時にオペレータを保護する安全構造を実現しています。



運転席干渉自動回避システム

バケットが運転室に衝突しないよう、干渉領域に入る前に、ブームが止まることなく滑らかに運転室を回避。従来のようにブームが止まり、再作動時にはブームを干渉領域外まで戻す必要がなく、ノンストップで作業が続行できます。オペレータはストレスを感じることなく、作業効率もアップします。



■ 自動回避領域 ■ 干渉防止領域

ブーム降下防止機構

ブームの自然降下を最小限に抑え、ブームの位置を保持します。



細部にわたるまで安心を高める、クボタの安全へのこだわり

● 旋回ネガティブブレーキ

エンジン停止後、自動的に旋回モータにブレーキがかかる安心のシステム。輸送時に使用していた旋回ロックピンも不要です。

● 安全レバー&エンジンニュートラルスタート

安全レバーをロックすることで不意の誤操作による作業機、旋回の作動を防止。またレバーがロック状態であればエンジンが始動しない仕組みとなっています。



TECHNOLOGY

コンパクトなボディに卓越の先進機能を凝縮。

オリジナル盗難防止装置「SS キー」を標準装備

「SS キー」は、キーに埋め込まれたICチップのキー情報を本体が確認することで、はじめてエンジンが始動するハイテクキー。キーの形状が同じでも、別のキーでは始動できません。電気系統・油圧系統・燃料系統の3つをロックするので安心です。



万一キーを紛失しても“登録キー（赤）”を差し込み“個別キー（黒）”を差し込むだけで新しいキーの登録が完了。

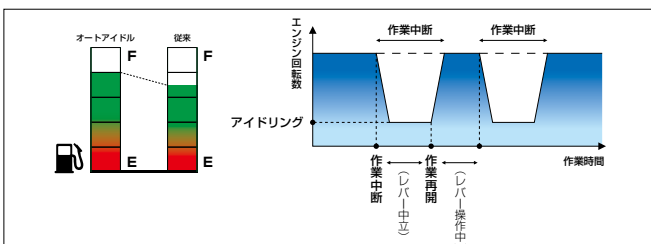
新しいキーを登録すると、紛失したキーは使用できなくなります。また1本のキーで複数台の機械が始動できる“お客様専用キー”も準備しています。



キー登録用登録キー（赤）、エンジン始動用個別キー（黒）、お客様専用キー（黄）、お客様専用キー（緑）

騒音低減と燃費効率を向上するオートアイドル（標準装備）

操作レバーを中立に戻すと、4秒後自動的にエンジンの回転がアイドル状態となり、再び操作レバーを動かすと、即座に元のエンジン回転数に戻る先進機能。燃料が約10%節約できるとともに、騒音が低減できるので市街地や夜間の作業も安心して行えます。

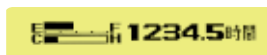


日本語表示の自己診断機能付液晶ディスプレイ

通常操作時のガイド（アワーメータ・燃料・水温・エンジン回転数）、SSキー登録、各種設定を、見やすい液晶ディスプレイに日本語でわかりやすく表示。万一の異常発生時も内容や処置方法などもきめ細かく表示するので、現場からサービスマンへの伝達もスムーズ。また故障履歴表示機能により、点検時の省力化が図れます。



エンジン 1234 回転



燃料を給油 印

MAINTENANCE

各部にわたり最小限を追求したスマートな整備性。

簡単に開閉できる、ダブルオープンボンネット

後部と右サイドのボンネットが大きく開くので、エンジン周りや燃料系の日常点検・整備が手軽に可能。本格的な整備の際は、わずか数分で後部と右サイドのボンネットの取り外しができ、内部の点検・整備がスピーディかつ的確に行えます。



●強化型ゴムクローラ

優れた強度と耐久性を備えたゴムクローラを採用。

●取説・工具入れ

シートの下部に取説や工具の収納ボックスを装備しました。



強固なフロント各部

作業中に大きな負荷のかかるブームの両端、走行モータサポートに鋳鋼材を使用。また、フロント支点部は大径フロント支点ピンにより強化しています。

損傷やトラブルを最小限に抑える、

先進の装備と優れた整備性

●鋼板製ボンネット

ボンネット部は補修が可能な鋼板製を採用しています。

●片山型トラックフレーム

クローラの泥はけがよく、土落としや洗車が容易に行えます。

●オートグロー

水温を自動感知し、最適、最短なグロー時間でエンジンを始動可能にします。

●分割式ドーザホース

ホースを途中で分割することで、不意の損傷時にも、ホースの整備・交換が容易に行えます。



●ダクタイル製オフセットブラケット

アーム取付部のブラケットに、優れた耐久性を誇るダクタイルを使用。また、外観デザイン面にも配慮しました。

●山型ブームシリンダカバー

廃材などの積み込み作業時もブームシリンダを損傷から守る特殊形状のカバーを装備しています。



PERFORMANCE

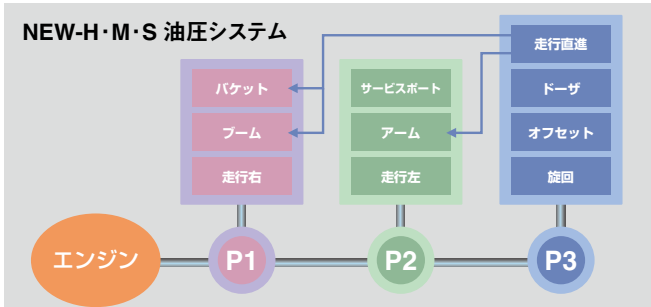
パワーと効率を両立させたハイパフォーマンス。



パワフルな掘削力と4連動作の

NEW-H・M・S 油圧システム

ブーム・アーム・旋回にそれぞれ独立したポンプを使用する3ポンプシステムを採用し、制御範囲の広いコントロールバルブ、可変容量ポンプを搭載。パワフルな掘削性能をはじめ、油圧システムとの最適マッチングにより、バケット・ブーム・アーム・旋回の同時操作を可能としました。さらに、走行直進回路の搭載により、走行時にフロント操作をしても安定した直進走行を実現するなど、現場のハードな要求に高次元でお応えします。



クラス最大のバケット掘削力

21.2kN (2,160kgf)と2tクラスの掘削力を発揮。ゆとりのパワーで効率よく作業を行えます。



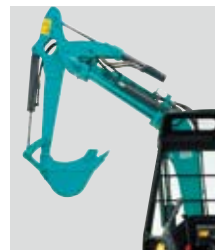
アームかき込み制限を標準装備 (3モード)

アタッチメントに応じて、アームのかき込み位置を標準バケット・ブレード・平爪の3モードに切り替え可能。アームのかき込み量を自動制限し、ブレード装着の場合もブームシリンダの破損を防ぎます。

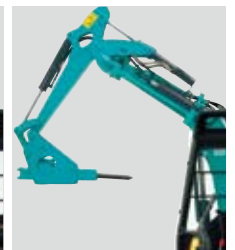
切替スイッチ



バケットモード



平爪モード



ブレードモード

サービスポート配管仕様 (オプション)

ブレーカや油圧フォークなど様々なアタッチメントに対応可能となります。



スーパーチェンジ/2パターンマルチ (標準装備)

4パターンマルチ (オプション)

操作方法を他社方式に切り替えることができます。



シガーライターソケット式予備電源

ソケットタイプの12V 予備電源を採用。

ダイヤル式アクセル

ダイヤル式の簡単操作でエンジン回転数の調整が可能です。



2tクラス超小旋回機に業界初!

移動式クレーン仕様機

法令で定める構造と安全装置の装備はもちろん、油圧の異常低下によるブーム・アーム降下防止装置を装備。クレーンモード時には、エンジン回転数が自動的に吊り作業に適した回転数になります。過負荷時には警告内容を液晶モニタに日本語で表示。ブザーと警告ランプでも同時に警報するのですばやく対処できます。
※日本クレーン協会が制定したJCA規格「JCAS2205-98」に適合しています。

さらに安全! 新機能

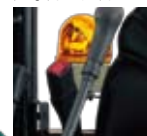
安全性を高める「クレーン + 走行」モードを新採用
「クレーン + 走行」ボタンを押すと、走行吊り時定格荷重に切替るとともに、走行が一速に固定され、より安全に荷を吊ったまま走行できます。

業界初! 日本語表示 過負荷警報装置

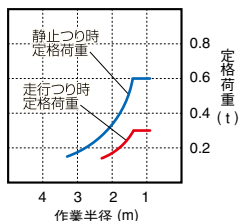
余裕の
0.6t 吊り



クレーンモード時にLEDの外部表示灯が点灯

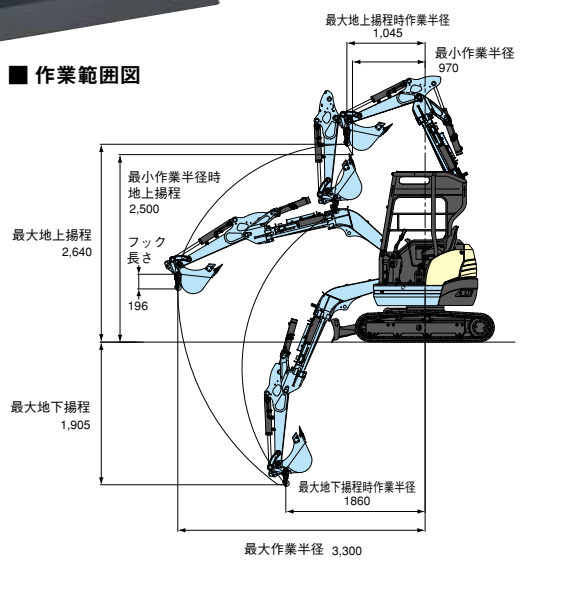


RX-205 CR 定格荷重 (標準アーム、0.06m³バケット付)



作業範囲	定格荷重	
	静止時	走行時
3.3 m	0.15 t	—
3.0 m	0.18 t	—
2.5 m	0.24 t	—
2.3 m	0.28 t	0.14 t
2.0 m	0.34 t	0.17 t
1.5 m	0.54 t	0.27 t
1.4 m以下	0.60 t	0.30 t

作業範囲図



フック格収時



ワイヤーロープ外れ止め金具付き格納型フックを採用

型式	RX-205 CR
機械質量	2,020 kg
吊上げ荷重	0.6 t

※質量はゴムクローラ仕様

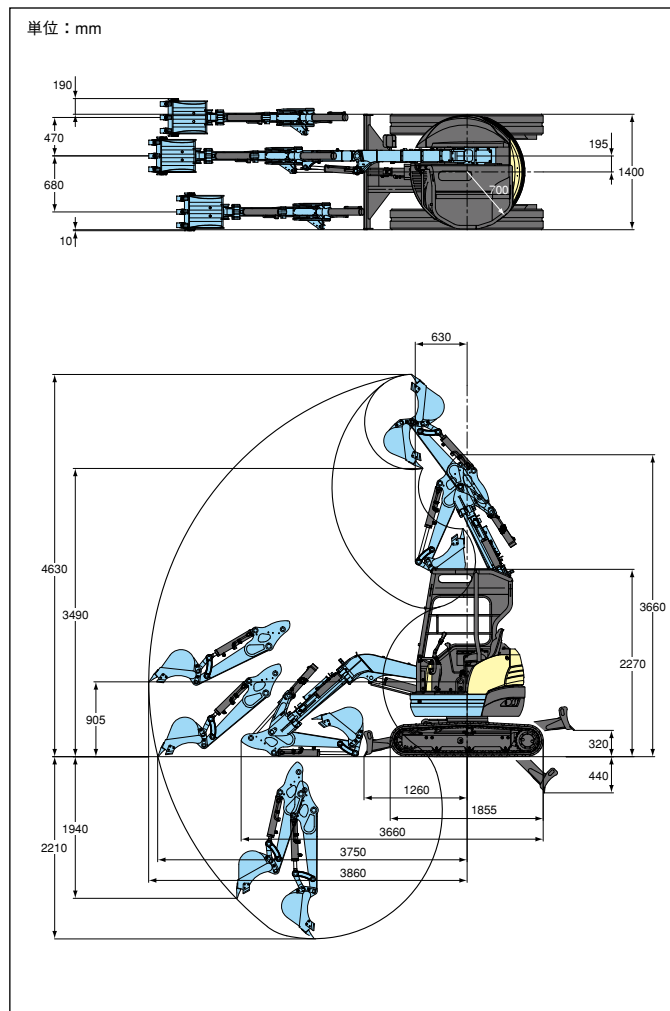
※クレーン仕様機の運転には「移動式クレーン特別教育」と「玉掛けと特別教育」の受講が必要です。

注 1) 静止時定格荷重は、水平堅土上設置荷役における値で、転倒荷重の78%以内、および移動式クレーン構造規格で定める前方安定度1.15以上です。

注 2) 走行時、つり荷下面高さは、地上0.3m以下と定められています。

注 3) 実際に吊り上げられる荷重は、上表の定格荷重から玉掛けロープ重量を差し引いた値です。

■ 作業範囲



■ 仕様

型 式		RX-205
バケット容量 JIS平積/山積		0.041/0.060m ³
標準バケット幅 (サイドカッタ含む/含まず)		450/400mm
機械質量		1,990kg
機体質量		1,440kg
機体寸法 (輸送時)	全長	3,660mm
	全高	2,270mm
	全幅	1,400mm
	最低地上高	265mm
エンジン	区分	クボタ水冷3気筒D1105-K3A
	形式	D1105-E2-BH-SR-2
	総排気量	1.123L (1,123cc)
	定格出力/回転数	14.0kW (19PS)/2,200rpm
掘削性能	最大掘削高さ	4,630mm
	最大ダンプ高さ	3,490mm
	最大掘削深さ	2,210mm
	最大垂直掘削深さ	1,940mm
	最大掘削半径	3,860mm
	オフセット量 (右/左)	470/680mm
	最小フロント旋回半径 (スイング時)	700mm
	最小後端半径	700mm
標準シュー	最大掘削力 (爪元)	21.2kN (2,160kgf)
	標準シュー形式	ゴムクローラ
	シュー幅	250mm
	クローラ全長	1,860mm
走行部	タンブラ中心距離	1,470mm
	クローラ中心距離	1,150mm
	走行速度 (1速/2速)	2.2/4.2km/h
	登坂能力	30° (58%)
旋回速度		8.9rpm
排土板	排土板 (幅)	1,400mm
	排土板 (高さ)	292mm
	リフト量 (GL上/下)	320/440mm
油圧ポンプ形式	可変容量型ピストン式×2+ギア式×2	
旋回モータ形式	オービットモータ	
走行モータ形式	ピストンモータ：2F	
燃料タンク容量	27.5L	
作動油量	24L (タンク内)/35L (全量)	

■ アタッチメント&オプション一覧表 ※納期など詳細は販売店にお問い合わせ下さい。

品 名	仕様・用途
狭幅バケット	幅330 (280) mm 0.038m ³
4パターンマルチ	クボタ (JIS) と日立・コマツ、三菱、神鋼パターンに切替え
スーパーチェンジ	クボタ (JIS) と日立・コマツパターンに切替え

※バケット幅 () はサイドカッタ含まず ※バケット容量は新JIS山積で表示

品 名	仕様・用途
ブーム高さ制限キット	高さを気にせず作業可能
鉄クローラ	幅250mm、43リンク、シューパット取付ボルト穴アキ
鉄クローラ+ゴムパット	幅250mm、43枚
サービスポート	23L/min 20.6Mpa (210kgf/cm ²)

- ご使用される時は取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用下さい。
- 機体質量3t未満の建設機械を運転する場合には、事前に「車両系建設機械運転特別教育」を、3t以上の場合には「車両系建設機械運転技能講習」を必ず受講して下さい。
- 故障や事故を防ぐ為、機械の定期的な点検を必ず行って下さい。
- 特定自主検査は厚生労働大臣又は労働基準監督局長の登録を受けた検査業者で検査を行なうよう義務づけられています。
- 国土交通省の定める超低騒音型・第3次排出ガス対策型については現在申請中です。

株式会社 **クボタ** 建設機械営業部 大阪府枚方市中宮大池1-1-1
株式会社 **クボタ建機ジャパン** 本社 兵庫県尼崎市浜1-1-1 ☎06-6470-6200

北海道営業部	北海道北広島市大曲工業団地3-1	☎011-377-5511
東北営業部	宮城県名取市田高字原182-1	☎022-384-2144
関東第1営業部	東京都中央区京橋2-1-3	☎03-3245-3614
関東第2営業部		
中部営業部	愛知県一宮市観音町1-1	☎0586-73-1235
関西第1営業部	兵庫県伊丹市奥畑5-10	☎072-781-7715
関西第2営業部	大阪府和泉市上代町996-1	☎0725-45-2299
中国営業部	広島県呉市広多賀谷3-4-10	☎0823-72-0233
四国営業部	香川県丸亀市飯山町下法軍寺90	☎0877-98-0277
九州営業部	福岡県大野城市御笠川2-3-1	☎092-503-3802
三光クボタ建機株式会社	熊本県熊本市東区西原1-13-5	☎096-340-1170

URL: <http://www.kenki.kubota.co.jp>

製品の詳しいご相談は下記までご連絡ください。

●本カタログに記載されている仕様は予告なく変更させていただくことがあります。
●ブレーキ作業をする時は「車両系建設機械 (解体用) 運転技能講習」終了証が必要です。